

会報

VOL.16



波止場町便り

2025年12月31日発行

記憶される港の風景 (その8)

「物語」をつくる人々は何処から



記憶される港の風景(その8)

1. 労働環境の変遷が見せつけるもの

北風と太陽と云う寓話がある。確かに私は「寛容さ」という風が、服従を強いる北風ではなかったことを知っている。しかし、「30円宿」のころ、神戸港では暴力という強い風が吹いていたのである。

昭和31年(1956年)5月21日労働者が砂糖を持ち帰って水上署に捕まった。このことを知った監督が「会社の面子に泥を塗った」としてバットでこの労働者を殴り殺してしまった。この事実が明らかにされたのは3か月後である。神戸新聞で報道され、警察が事件として取り上げたからである。このような暴力的制裁は労働者支配のためであるが、港湾という公共の場所と労使関係にふさわしくないものとして、この事件を契機に神戸港の民主化は港湾労働法の制定へと向かうことになる。

1966年(昭和41年)に港湾労働法は施行される。この法律の所轄官庁は今で云う所の厚生労働省、当時は労働省であった。そして、港湾管理者の神戸市、港湾運送事業法を所管する神戸運輸監理部などの行政責任が明記されることでむき出しの暴力支配という「風」は変化したのである。港湾は港という動かしようの無い場所であり、使用者側も港労法―港湾運送事業法に規定されて、責任ある対応を求められる事になった。法律のもたらした効果は行政責任を果たすことを求めただけではなく、労使関係においても責任を果たすことを求めたのである。とはいうものの、港湾労働特有の苛酷な現場労働に規定されて、その「暴力性」が短期間で改善されたわけではない。たとえば40年前に私が見た事柄である。本船での荷役作業は作業会社が勝手に仕切れるわけではなく、元請けの指示に沿ったものである。ましてや工場作業と違い、入港する各国の船の荷役機器を使用してのものである。荷役機器の不具合や荷崩れなどの重大事故の危険と隣り合わせの作業である。説明している余裕などない場合は語気の荒い指示となり、怒声にも聞こえる。それは仕事の性格上やむを得ない場合もある。ただしである。トラブルや行き違いに対する処し方は時として暴力的であった。本船に荷揚げするために何隻もの舢舨が横付けされていた。デッキにいた監督が、舢舨の船頭に向かって舢舨を入れ替えるように指示する。舢舨の船頭は「俺が先に来たんだから、俺の荷物を揚げてくれ」と言って舢舨を移動させようとしな。何度かのやり取りの後でデッキ上の監督は「馬鹿野郎!どけろ!」と怒鳴り、4メートルほどあるショールング用角材を舢舨に投げ入れたのである。問答はあった。だが、どう見ても問答無用である。この様な説明しがたい理不尽なことは多かったのである。当時の在来船は船首が尖ったものも多

く、積み付けに際して、船内大工が荷物台を作りスペースを確保したのちに、船内労働者が苦勞して荷物を収めることもあった。荷役が終わって次の仕事に移ろうとしたときに監督からのやり直し指示である。当事者から公然と不満の声が上がる。すると業を煮やして監督がウインチの先のフックに足を乗せ、ワイヤーを掴んでダンブルに降りて来て「バラセ」と命じるのである。一見正義のヒーローのようであるが、やっていることは悪代官である。今ではありえないことだが、事故も喧嘩もなく作業が進んだのは労働者数に余裕があり、失敗に対応する柔軟性が共同性としてあったからだとも思う。

前号に掲載した「30円宿」の写真であるが、博打をしているそばで本を読んでいる者、博打を見ている女性、奥に干してある作業服など簡易宿泊所での「のんびり」した雰囲気はよく出ている。戦前は分からないが、戦後も企業に所属しないで港で働く労働者は権造、または沖人足と呼ばれ蔑まれていた。権造部屋は東川崎町、西出町、宇治川に多くあったと言われている。『会報9号』で書いたが、1964年に雇用促進事業団により全国で最初に建設された第一福祉センターの一泊料金が70円である事と比較したとき、値段の変化以上に労働環境の改善に考察が行くのである。個人個人の力量で企業や組に対していた労働者にとって、その存在が公けであると認められ、その労働と生活と活動を支える施設が港労法施行に先立ち誕生したのである。それは北風に吹き飛ばされまいとして、オーバーの襟を立て、帽子をつかんでいた両手と共に、古く狭い世界を解き放ったのである。会社や組合を越えた交流が波止場町を中心に、地域へも広がった。企業内や居住地域に規定された旧来の関係性は、視野が広がることで労働者のみならず企業にとっても神戸港にとっても有意義に働いたはずである。「港に行けば飯が食える」「神戸港に行けば飯が食える」という労働者の受け皿が企業や組だけでなく、宿泊・食堂・風呂・洗濯場・会議室などを完備した施設の誕生で神戸港の隆盛をささえ、発展の可能性を拡大したのである。



(続＜磯田 和男)

今夜も大いに盛り上がる！ 2025 X'masパーティ&忘年会 開催

12月12日夜、Harbor Studioを会場に会員88名が参加して、2025X'masパーティ&忘年会を開催しました。

当日は、今田副会長の開演挨拶、永田副会長の乾杯発声によりスタートし、もはや恒例となった各社対抗カラオケ大会もますますハイレベルな戦いとなり、また、出場者のパフォーマンスもあり、異様な熱気をもって盛り上がりました。

また、ゲストによるコンサートもMarSAさんのすごい声量とソウルフルでパワフルなヴォーカルと、土井亮ユニットによる演奏も、それぞれ関西屈指のミュージシャンだけあって素晴らしく、会場が一体となつてのノリノリのライブでした。

今回も参加者全員サンタ帽に蛍光色に光るブレスレッドを着けて、少し早いクリスマス気分を全身で楽しみました。

料理の方も、ネタも大きく豪華な握り寿司に熱々のピザ等々、たっぷりとなり、大満足でした。

そして、会の最後は、会員各社様からご提供いただいた豪華な景品が当たる、お楽しみの大抽選会が行われ、景品は半数以上の方に当たり、くじを引くたびに歓声と笑顔が会場にあふれました。

宮本副会長による締めめの挨拶も早すぎて唐突に感じ入られるほど、あっという間のX'masパーティーでした。

参加された皆様、お疲れ様でした。そして、ありがとうございました。良いお年を！



会 員 一 覧

- | | | |
|----------------------|--------------------|-------------------|
| ● 株式会社メイフェア | ● 株式会社アベストコーポレーション | ● 兵庫県信用組合本店営業部 |
| ● 住井運輸株式会社 | ● 株式会社住友倉庫 神戸支店 | ● 株式会社アテネエンタープライズ |
| ● ニッケル.エンド.ライオンズ株式会社 | ● 早駒運輸株式会社 | ● 株式会社ハイファイブ |
| ● 甲陽運輸株式会社 | ● 株式会社ユニオンエージェンシー | ● 合同会社リリー企画 |
| ● 二和興業株式会社 | ● 株式会社ラススイート | ● 株式会社SORA |
| ● 株式会社KDS | ● 中央港運株式会社 | ● 株式会社I・B・C |
| ● 商船港運株式会社 | ● 上津港運株式会社 | ● 株式会社パワーステーション |
| ● A&D MUSIC | ● 走水神社 | |
| ● 神菱港運株式会社 | ● 昌栄運輸株式会社 | |
| ● 全港湾神戸弁天浜支部 | ● 株式会社クリアス | |

(順不同)